

平成28年1月 香美町教育委員会（定例会）会議録

【開会・閉会の年月日】

平成28年1月22日（金）午後2時00分～午後4時10分

【場所】

香美町村岡地域局3階 301会議室（香美町村岡区村岡390番地の1）

【会議に出席した者の職・氏名】

教育長	朝倉 寿文
教育委員	安田 優二
	野村 道彦
	吉田 加代子

事務局

教育総務課長	西村 吉弘
教育企画研修室長	水垣 清和
こども教育課長	磯田 英昭
こども教育課副課長	中村 和弘
生涯学習課長	岸本 典明
教育総務課主査	大城 優

【会議に欠席した委員の職・氏名】

教育委員	山崎 つるみ
------	--------

【議事日程】

会議に付した事件も、同じく別紙議事日程のとおりである。

1 開 会

（教育長）開会宣言

2 会議録署名委員の決定

（教育長）会議録署名委員に野村委員を諮り、全員承認

3 会期の決定

（教育長）会期は本日1日限り

4 会議録の承認

前回会議録を会議に諮り、全員承認

5 教育長報告

朝倉教育長より、12月25日から1月21日までの期間(前回の教育委員会～昨日)に開催、出席した会議・行事等について資料により報告

- 1月12～14日：第68回兵庫県高等学校総合体育大会スキー競技会
- 1月16～17日：第71回国民体育大会冬季大会スキー競技会兵庫県選考会ほか
→どちらのイベントも雪不足のため中止

6 議 事

(1) 議案第1号 香美町心身障害児就学適正指導委員会規則の一部を改正する規則を定めること について

(こども教育課長)

平成25年10月に文部科学省から出された「障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援について」という通知によると、早期からの教育相談支援や就学先を決定するだけでなく、その後の一貫した支援についても助言を行うという観点から、機能の拡充を図るとともに名称を教育支援委員会とすることが適当であるため、「香美町心身障害児就学適正指導委員会」から「香美町教育支援委員会」に名称を変更した。

(教育長)

議案第1号を会議に諮り、全員異議なく可決

(2) 議案第2号 香美町立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則を定めること について

(こども教育課長)

学校運営に関して校長が意見を求めるための学校評議員は、これまで校長の推薦により教育委員会が委嘱していた。この改正により、校長が委嘱を行い教育委員会に報告することとなる。

【質疑内容】

(野村委員)

校長が委嘱することになった背景を教えてください。

(こども教育課長)

平成27年1月15日に出された文部科学省からの通知の中で、「県立学校における学校評議員の委嘱について、より迅速な手続きのもとで地域の実情に根差した適切な人材を学校評議員として活用できるよう、委嘱権限を校長へ変更すること」という提案があったことによるものです。

(安田委員)

学校評議員として委嘱を受ける場合は、教育委員会からではなく学校長から委嘱状を受けることになるのですね。

(こども教育課長)

改正後は、学校長からの委嘱になります。

(教育長)

議案第2号を会議に諮り、全員異議なく可決

7 協議事項

(1) 平成28年度香美町教育の重点(案)について

(教育総務課長)

教育の重点については、香美町の教育振興基本計画に基づき毎年、教育の中でどこに重点を置くのかに特化して策定し、各学校でこの内容に沿った教育がなされるよう徹底をしている。

今回の案が2月の定例会で承認された後、町議会へ提出する運びとなるため、委員の皆さまから意見を寄せていただければと考えている。

(教育企画研修室長)

「資料：第2次香美町総合計画(抜粋)」「資料：香美町総合戦略(抜粋)」をもとに、子ども・教育がまちの将来を担うための重要な位置づけになっている背景について説明。

今回は香美町教育方針の考え方と重点施策について提案。後半部分の具体的な取り組みについては、来月の定例会で提示

～平成28年度香美町教育の重点(案)を朗読～

【質疑内容】

(教育長)

教育の重点については、これまで積み重ねてきた内容を次年度にも生かしていきたいという思いを込めて、一字一句吟味しながら原案を作っています。香美町総合計画を基本としながら、町内で活躍していただく人材を育成することを強く打ち出した内容となっています。私たちは、これを基本にして各学校に提言をしていきたいと考えています。

委員の皆さんから何かご意見がありましたら、お願いしたいと思います。

(安田委員)

本文中で「保・幼・小・中・高が連携し合う一貫化教育の推進」について述べられており、これから具体案が示されるとのことですが、ある県では中学校の卒業生のうちの何割かが隣接する県の高校へ進学してしまい、その結果自分の県の高校の存続が危ぶまれるという実情があるという話を聞いたことがあります。この話は、香美町であっても人ごとではないのではないのでしょうか。

私は、香美町の運動の推進をしているのですが、スポーツの優秀成績者が実績を残せる学校へと進学していく姿を目の当たりにしました。学力優秀な生徒にあっても、進学校を受験する事例も考えられます。高校は、とても重要なポジションであると思われまので、ぜひ具体案を練られる際にはこの流れを食い止められるよう、課題として焦点を置いて考えていただければと思います。

(教育長)

卒業生の志望校を規制することはできないので、これは非常に難しい問題であると思います。教育委員会としては、高校が「ここで学びたい」と思えるような魅力ある学校づくりに取り組んでいただくことが理想であると考えています。香美町内の村岡高校と香住高校については、それぞれ一生懸命に頑張っているのではないのでしょうか。

しかしながら現在の学区制では、規制が緩和されていることもあって、志望校が地元でないことが多少なりとも出てきています。

(教育企画研修室長)

この問題は、内容を整理する必要があると思います。まず、この教育の重点についてですが、香美町教育委員会の所管において、教育をどのように進めていくかについてまとめていますので、こちらが直接指導する対象は、小・中学校及び就学前と公民館になります。

香住高校と村岡高校は県立校であり、その方針については県と各校が決定します。町内に設置されていますので、当然両校と関係を密にしていますし進学も勧めています。町教育委員会としてできることには限りがありますので、教育の重点の中に高校の教育についての記載はしていません。

安田委員が先ほどのご質問の中で心配されているのは、高校の存続というレベルの話だと思えます。その件については、香美町総合計画の中にもありますが、教育委員会というより香美町として町内の高校をどのように支援していくかが重要になります。その一環として子どもたちをどう進学させていくかということもあろうかと思われます。

香美町の教育委員会としては、子どもたちが保・幼・小・中・高と育っていく中で、対象となる中学校までをまずしっかりと連携させた上で、そこで完結するのではなく、町内の両校にしっかりとつなげていくことを視野に入れた教育を考えています。具体的には、中学校側からのアプローチだけではなく、高校側からも町内の各校を意識した連携をとっています。例えばあいさつ運動や部活動をはじめ、小学生への指導のような児童・生徒間の連携もありますので、今後さらに連携を深めていきたいと考えております。

教育の重点の基本的な考え方は、子どもたちが香美町で小・中・高と成長し希望の進路につき、次の世代の担い手になるような、つながりのある教育を目指すことを意識して取り組んでいます。

8 事務局報告

(1) 教育総務課・・・報告者：教育総務課長

○学校施設の耐震化と整備状況について

①奥佐津・兎塚・射添小学校：体育館耐震補強及び大規模改修工事

- 昨年12月末で完成。ほぼ新築のような外観・内装・床
- 工事費は、約4億5千万円（3校分）

②香住第一中学校：管理棟改築工事

- 現在基礎工事中。上屋が見えるのは3～4月ごろの予定
- 工事費は、約6億6千万円

○日本体育大学との「健康づくり・スポーツ振興に関する連携協定」の締結について

- 昨年末に県教育委員会スポーツ振興課長同席のもと、町企画課長とともに大学を訪問。制度の説明を受け、キャンパスを見学
- 今後、大学と連携を図りながら調整。調印の時期は未定
- 協定内容について

- ①健康づくりやスポーツ振興に関する講演会の際、大学から指導者・トップアスリートを講師として派遣
- ②香美町の子どもたちを大学に受け入れ、最新鋭の設備を利用した実技指導を実施
- ③修学旅行のコースに設定し、子どもたちがキャンパス内を見学し、日本のトップレベルの演技を体感 ほか

(2) こども教育課・・・報告者：こども教育課長

○1月19日に気象警報が発令され、町内の全小・中学校が臨時休校

- 放課後児童クラブも閉所

○村岡区保育所のあり方懇話会について

①第1回懇話会：11月25日開催

- 村岡区内の3つの民間保育所の園長が現状や運営上の問題点等を説明

→問題点：「子どもたちの数が少なくなっている」
「保育所が分散しているため、保育士の人数が足りない」

②第2回懇話会：12月16日開催

→前回の会議で現状を把握したことにより、委員の意見は「保育所を一つに統合していく」という方向で概ね固まりつつあるが、統合後に対象地域が広範囲となるため、通所するための交通手段の方策を打ち出すことが喫緊の課題

③第3回懇話会：1月26日開催予定

→懇話会での結論がある程度まとまった後、住民説明を実施する可能性あり

○全国学力・学習状況調査結果の報告（公表）について

→実施日：平成27年4月21日（火）

→対象：町内全ての小学校：6年生と中学校：3年生

→調査内容：国語・算数（数学）・理科の学力調査。学習状況調査

→調査する学力は、あくまで子どもたちのある特定の一部分だということが大前提であり、調査結果を分析したことからわかる状況や課題点、今後の対策等を付け加えて公表

→小学校の現状について

全国平均を上回る・・・なし

〃 と同程度・・・国語（知識）

〃 を下回る・・・国語（活用）、算数（知識）・（活用）、理科（知識・活用）

※昨年度は、すべて「同程度」。理科は未実施

→中学校の現状について

全国平均を上回る・・・国語（活用）、数学（活用）、理科（知識・活用）

〃 と同程度・・・国語（知識）、数学（知識）

〃 を下回る・・・なし

※昨年度は、すべて「同程度」。理科は未実施

→小・中学校ともに昨年度と結果が異なる理由は、調査対象者が違うことも一因

→学習状況調査の結果について説明

（家庭での学習時間、読書の時間、生活習慣、メディアとの関係、規範意識等）

→今後の方策として学校・家庭・地域が連携し合い、取り組む目標について説明

（例：「課題解決的な学習」の方法について授業への導入を推進する等）

【質疑内容】

（安田委員）

学習時間についての調査結果がありますが、これには塾での学習時間は含まれていますか。

中学生の調査結果を見ると、高・低得点の層に生徒が集中し、中間層が少ないようでした。私は、塾に行っているかどうかの差がそこにあるのではないかと考えました。低得点の子どもたちの底上げの取り組みが学校で図れたら、基礎学力が底上げされるのではないのでしょうか。

（教育企画研修室長）

塾での学習時間についてですが、家庭での学習時間が対象ですのでここには含まれていません。学習塾や家庭教師については、別の設問で調査しています。

この調査ではクロス集計を行っていないため、塾に通っていることと学力との関連性についてのデータは提供されていません。

（こども教育課長）

学力を上げるにはいろいろなパターンがありますが、できれば全員がそれぞれに少しずつでも上がっていくように学校では取り組んでいます。

(教育長)

中間層の子どもたちが少ない状況の場合は、そこに向けて授業をすると当然焦点が合わなくなります。子どもたちの学力を見ながら、状況に合わせた指導が現場には求められています。

(野村委員)

小学校の調査結果が下回っていますが、これは今回だけの問題なのでしょうか。それとも何年間もこの状況が引き続いているのか、香美町の傾向がわかれば教えてください。

(こども教育課長)

これは今年度の6年生の子どもたちの状況であり、学力が低下しているわけではありません。

(教育総務課長)

調査結果は、ホームページ等で公表いたしますのでご承知ください。また、結果を踏まえた今後の方策については、教育の重点の具体的な施策の中に反映させます。

(3) 生涯学習課・・・報告者：生涯学習課長

○「香美町小学生カルタ大会」の結果について

→1月16日(土)に村岡体育館で開催

→46人が参加。全町域での交流の場

○「第16回兵庫県雪合戦大会」について

→2月6日(土)～7日(日)に小代中学校：運動場で開催予定

→53チーム、約500名が参加

→町の活性化や活力あるまちづくりにつながるイベントであり、県民局長も「但馬内で同様のイベントがたくさん実施できるように」と発言

○「第26回香美町こどもの絵100人展」について

→2月27日(土)～3月6日(日)に香住文化会館で開催

→2月27日(土)・28日(日)に出展作品について講師が詳しく解説する鑑賞会を実施

○香住区中央公民館：文化ホールの音響設備について

→成人式終了後に工事を開始し、現在古い音響機器の取り外し作業中

→2月20日までに、施設整備を終える予定

→文化ホールも30周年を迎え、3月26日に実施する「南こうせつコンサート」をはじめ、町民の皆さんに楽しんでいただける参加率の高い活動に取り組みたい。

○オリンピックに向けた日本体育大学との交流について

→小代区内でアーチェリーの事前キャンプを誘致

→兵庫県はフランスでの招致活動を展開中

9 その他

(吉田委員)

12月の定例会で学校訪問以外でも何らかの形で学校の取り組みを見る機会を作っていたきたいとお願いしたところ、早速「香住5校チャレンジ通信」を送っていただき、1月18日の柴山小学校のチャレンジプランを見学してきました。

普段は複式になっている学校もあるため、先生方が取り組まれる教科やその内容設定が難しいのではないかと心配していましたが、「ジャンボ百人一首づくり」を通して古典に親しみながら先生たちがアイデアを出し合い、普段見たことのないようなルールを決めて授業に取り組まれました。学年はまたがっていながらも、大勢の中で子どもたちが札を取り合う姿を見ると、普段味わう

ことができないかけがえのない体験だと感じました。また、最後に校長先生から「普段は少人数ですが、一堂に集まった子どもたちの表情を見るとハツラツとしています。みんなで今頑張っています」という声をいただきました。

学校訪問では得られない貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。

(教育長)

チャレンジプランでは、普段見ることのできない様子を見学できますので、機会があればぜひ足を運んでみてください。

【次回委員会の日程】

次回定例会は、2月19日(金) 午後2時～

※次回の定例会は、香美町役場第2会議室で開催

(同会場において「第2回香美町総合教育会議」を午後4時から開催)

10 閉 会

香美町教育委員会会議規則第27条の規定によりここに署名する。

平成28年1月22日

教育長 朝倉寿文

香美町教育委員会 署名委員 野村道彦

会議録作成者：教育総務課 主査 大城 優